

私たちは 携帯電話システムを通じて お客さまの満足と 社会への貢献を目指します

経営理念

顧客満足を第一とし、高い品質の商品を提供します
自助の精神と執念をもって、事業の発展に寄与します
活気ある職場をととして、創造性と個性豊かな社員を育成します



NEC 埼玉では、NEC の携帯電話の開発・生産と携帯電話用基地局装置の開発を行っています。先進の技術開発力と合理的な生産ラインおよび徹底した品質管理体制の下、製品の小型化・軽量化・高機能化に積極的にチャレンジしています。

急速に進化する移動通信ネットワークにおいて、当社はこれまでも高速サービスであるHSDPAを国内で初めて出荷するなど、携帯電話システムの先駆けとして活躍してきました。

スマートフォンやそれを更に高速化し使い易くする次世代ネットワークのLTE等、携帯電話の進化に対応し、今後とも業界をリードする会社でありつづけ、お客様や社会のお役に立てるよう努力してまいります。

今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長 井上 武俊

Greeting

- ご挨拶
- 経営理念





- 商号 埼玉日本電気株式会社
- 所在地 埼玉県児玉郡神川町元原300-18
- 代表者 社長 井上 武俊
- 資本金 2億円
- 設立 1984年1月(操業 同年11月)
- 事業内容 移動通信機器並びに関連機器の開発、設計、製造
- 主要製品 携帯電話

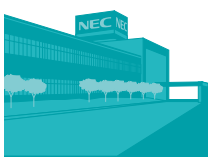
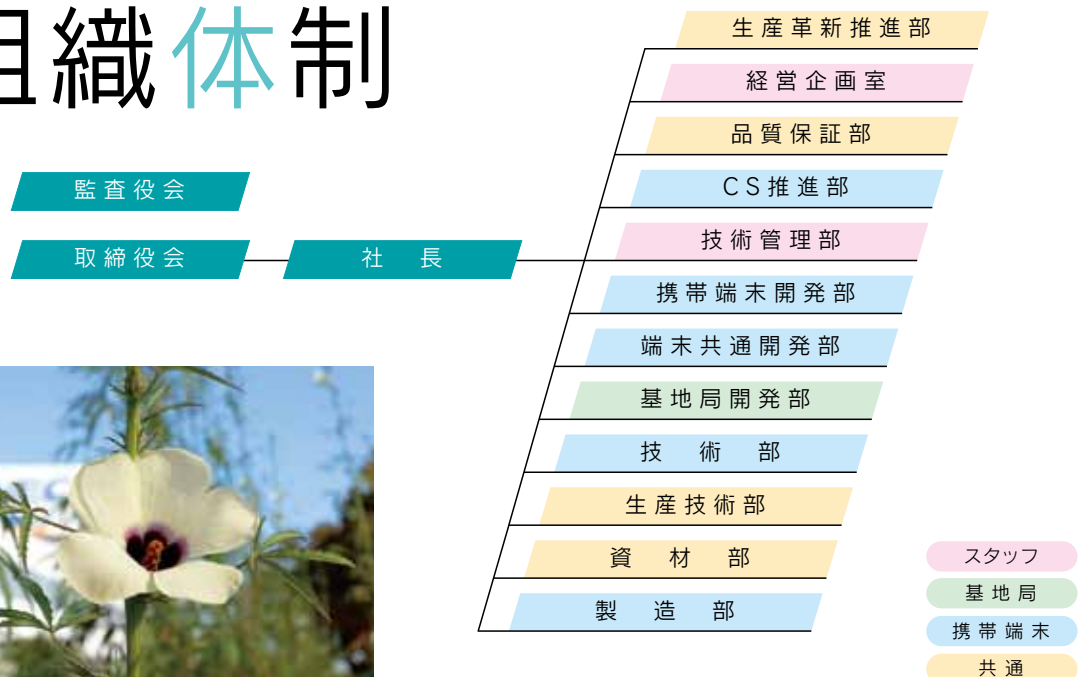
会社概要



Outline

- 会社概要
- 組織体制
- 沿革

組織体制



沿革

- + 1984年 1月 + 埼玉日本電気株式会社設立
- + 1984年 12月 + 自動車電話・パーソナル無線機初出荷
- + 1987年 5月 + 携帯電話生産開始
- + 1988年 5月 + 自動車電話基地局パネル初出荷
- + 1990年 9月 + 自動車電話基地局初出荷
- + 1991年 5月 + 自動車電話・携帯電話生産累計「100万台」達成
- + 1991年 12月 + 「ISO9002」認証取得 JMI(現JQA:財団法人日本品質保証機構)より
- + 1996年 3月 + 「ISO9001」格上げ認証取得:JQAより
- + 1997年 7月 + 携帯電話・自動車電話生産累計「1,000万台」達成
- + 1997年 12月 + 「ISO14001」認証取得:JQAより
- + 1999年 7月 + 労働大臣賞優良賞受賞(全国安全週間において職場の安全活動が評価される)
- + 1999年 12月 + 携帯電話・自動車電話生産累計「2,000万台」達成
- + 2001年 2月 + 携帯電話・自動車電話生産累計「3,000万台」達成
- + 2001年 12月 + 地球温暖化防止活動環境大臣賞(リサイクル部門)受賞
- + 2002年 2月 + 関東経済産業局長賞受賞(エネルギー管理優良工場)
- + 2002年 9月 + 基地局装置生産累計「5万台」達成
- + 2005年 3月 + 携帯電話・自動車電話生産累計「7,000万台」達成
- + 2006年 3月 + 太陽光発電システム導入
- + 2006年 11月 + 携帯電話・自動車電話生産累計「8,000万台」達成
- + 2007年 5月 + 基地局装置生産累計「10万台」達成
- + 2007年 7月 + MM総研大賞2007ものづくり優秀賞受賞:MM総研(マルチメディア総合研究所)より
- + 2008年 3月 + さいたま環境賞受賞
- + 2008年 3月 + 埼玉県エコアップ認証事業所認定
- + 2008年 9月 + 「ISO27001」認証取得:BSIより
- + 2008年 11月 + 携帯電話・自動車電話生産累計「9,000万台」達成
- + 2009年 2月 + 「BS25999」認証取得:BSIより
- + 2010年 3月 + 第13回 環境コミュニケーション大賞 奨励賞受賞



品質へのこだわり

品質全社方針

『世界の人々に喜ばれる優れた品質の製品を提供します。』

品質保証

携帯電話の機能はメール、カメラ、ワンセグテレビと急発展を続け今後も更に高機能化し、お客様の使い方や電話から人と人をつなげる「生活必需品」へと大きく変化しています。私たちはこの変化でも違和感なくご使用いただけるよう、お客様の使い方を統計学的、人間工学的に常に調査・評価し、開発・設計および製造への品質改善フィードバックを迅速に行なうことで高機能な「生活必需品」の商品提供に挑戦し続けます。



プロセス改善会議



成分分析 (RoHS評価)



無線評価 (電波暗室)

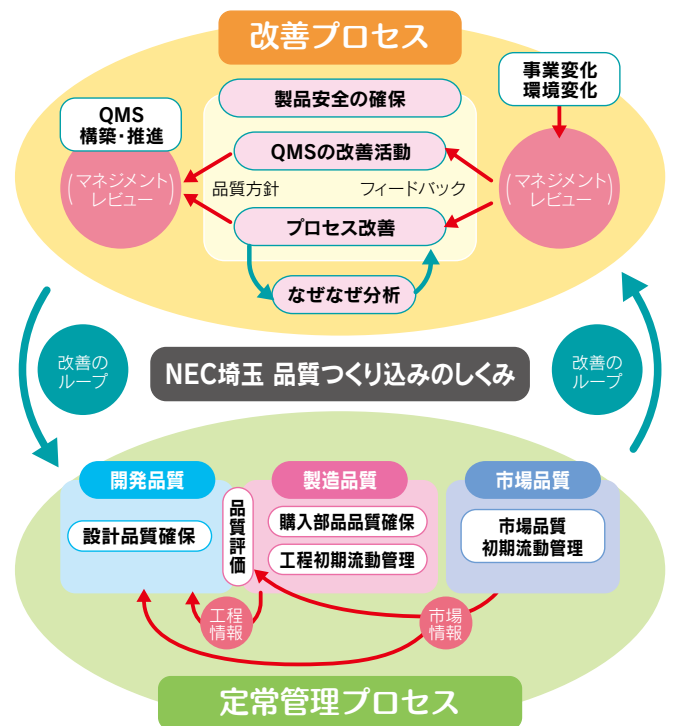
【品質つくり込みのしくみ】

「品質つくり込みのしくみ」は定常的に品質をつくり込んでいく「定常管理プロセス」と急激に変化する技術・使用環境に即応していくための「改善プロセス」からなります。

「定常管理プロセス」は、新技術をお客様に安心して安全に使用いただくための設計品質確保、製造品質確保および市場に出して喜んでもらえるための使用シーンを想定した品質評価、お客様が使用したときに出てきた問題をすばやく修正する市場品質の初期流動管理からなります。

「改善プロセス」は全社の品質を向上させるしくみが環境変化や現実に即しているかどうかを改善するQMS (クオリティマネジメントシステム) の改善活動と問題の真の原因を追究 (なぜなぜ分析) しプロセスをより良くするプロセス改善、

安心してお使いいただくための製品安全の確保からなります。



「ユーザー様の満足を最優先に」
私たちは、ユーザー様から信頼される製品を市場に送り出し、さらなる品質向上への取り組みに挑戦し続けます。

Quality

- 品質方針
- 品質マネジメントシステム概要



品質システム登録証 (ISO9001)

最先端技術を 駆使した開発

お客様のニーズにマッチした
魅力ある製品を提供するため、
技術者一人ひとりの創造力と
世界最先端技術への飽くなき挑戦により、
夢のある製品の開発設計に取り組んでいます。

● 携帯電話

携帯電話の開発においては、デバイス・部品・回路・機構・ソフト設計から装置設計と幅広い分野の技術者が連携し、デザイン性と機能性およびユーザビリティを追求した製品開発に取り組んでいます。

開発の効率化と設計品質の向上のため、高周波回路設計、熱設計、強度設計等に最新のシミュレーション環境やCAE^(注1)システムを導入し、EDA^(注2)の推進に努めています。

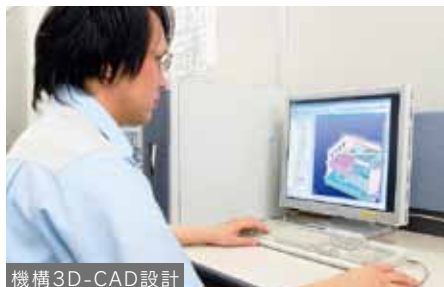
(注1) CAE (Computer Aided Engineeringの略)

(注2) EDA (Electronic Design Automationの略)



Development

■ 開発設計



● 基地局装置

携帯電話の無線基地局装置は一般ユーザーが直接目に触れることがほとんど無い装置ですが、高機能、高性能、高品質、エコロジーを追求した先端技術の塊です。

当社では、システム設計、無線・制御機器設計、ベースバンド処理部設計、機構設計、また、端末機や上位ネットワークとのインタフェースの設計など、移动通信システム全体に関わる設計を行っています。



環境面、製品安全面からの要求事項も考慮し、低消費電力化、小型化、軽量化、安全設計等時代のニーズにあった機能、将来を見据えた機能を実現すべく、挑戦し続けています。



ものづくりを極める

お客様の要求に応える高機能、
高品質の製品をスピーディーに提供
するために、革新的な生産システムで、
ニーズの多様化に対応します。
その高い生産性と品質は、世界No.1の
ものづくりを目指します。



リーン生産方式の導入

ムダの徹底排除と目で見える管理



生産革新活動

NEC埼玉における生産革新活動では、徹底的にムダ(動作のムダ、運搬のムダ、停滞のムダをはじめとする7つのムダ)を排除し、製品の製造容易性を追求し、品質の安定した、人にやさしい携帯電話の生産ラインの構築に努めています。

人と設備が調和した生産ラインで、お客様から生産ライン、部品メーカーまでを強く繋ぐSCM(サプライ・チェーン・マネジメント)構築で、全国物流ネットワークを活用したデیلیー出荷を実現し、お客様にスピーディーに製品をお届けしています。

優れた品質の製品を提供するために、工程管理・製造品質・不良の未然防止の強化に努め、更なる品質向上のため、継続的な改善活動に挑戦し続けています。

働きがいのある職場づくり

【生産革新活動の狙い】

働きがいのある職場づくり

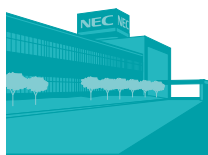
創造性と個性豊かな社員育成のため、個人の主体性が活かされる職場づくりを目指し、社員がやりがいを持って働ける様に、社内表彰制度、資格制度、小集団活動等を取り入れ、お客様の満足と社員の満足を常に考えながら、日々、努力を重ねています。



Product

生産革新活動

働きがいのある
職場づくり



環境にやさしく

当社では、『環境方針』に基づき、環境にやさしい製品づくりを通して、事業活動に伴う環境負荷を低減すると共に、地球環境保全に積極的に取り組んでいます。



● 環境方針

『かけがえのない地球を子供たちへ』

● 基本理念

NEC埼玉は、携帯電話及び基地局装置の開発設計並びに携帯電話の生産に関わる事業活動及び製品の提供において、地球環境保全の取り組みを経営の最優先課題のひとつと捉え、事業の発展に努め持続可能な社会づくりに貢献します。

● 行動指針

事業活動に伴う環境負荷・リスクを継続的に低減するとともに、社会の環境保全に貢献するため、

環境にやさしい工場づくり
環境にやさしい製品づくり
環境にやさしい人づくり

に積極的に取り組みます。

*最新改定日:2011年6月17日

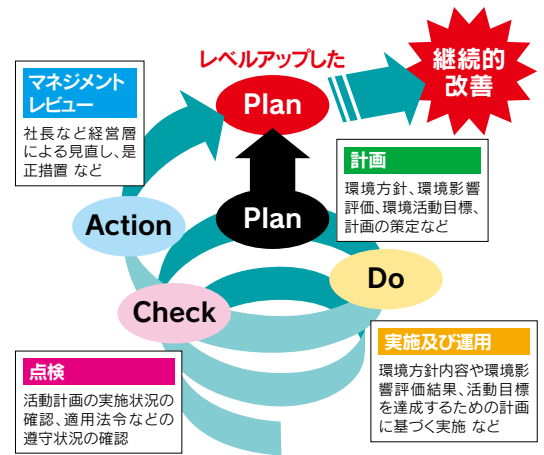
1 環境マネジメントシステム

P→D→C→A管理サイクルによる継続的な環境活動を展開しています。

これは、環境方針・環境影響評価・環境計画(Plan)に始まり、それに基づく活動の実施(Do)、実施状況の確認(Check)、是正処置・見直し(Action)で構成されるシステムです。



環境マネジメントシステム登録証 (ISO14001)



□内:ISO14001規格の要求事項

Ecology

- 環境方針
- 環境への取組

2 環境に配慮した製品開発

製品開発コンセプト「性能」・「品質」・「価格」・「デザイン」に「ECO:(エコロジー:環境)」を取り入れて、開発・設計の段階からより環境にやさしい製品づくりに取り組んでいます。

性能 品質 価格 デザイン + ECO (エコロジー)

地球温暖化防止

CO₂の削減

製品使用時・待機時の消費電力の低減など

グリーン化

有害物質の抑制

鉛、ハロゲン、六価クロムなど

資源循環

3Rの推進

Reduce(リデュース):資源抑制
Reuse(リユース):再利用
Recycle(リサイクル):再利用

製品設計、生産、輸送、使用、廃棄の全ライフサイクルで考慮



3 省エネによる地球温暖化防止活動

会社全体のCO₂排出量を削減するため、各種省エネ施策を実施しています。

設備更新の際には、省エネタイプに切り替えたり、CO₂を排出しないクリーンな新エネルギーを積極的に取り入れています。2006年3月には、太陽光による発電システム、2008年3月には太陽光と風力によるハイブリッド外灯を社内に導入しています。



ハイブリッド外灯



太陽光発電システム



壁面緑化

4 農業協同組合(JA)との循環型環境活動の推進(2005年6月~)

地域の農業協同組合(JA)と提携して、循環型環境活動を継続して行なっています。当社のコンポストを「JA埼玉ひびきの」経由で近郊農家に配布し、野菜や果物を育てる土壌の改良材として活用していただいています。また、収穫した作物を食堂食材として購入したり、JAによる従業員への販売も行なっています。この循環型環境活動を通じて、地域農家に対する社会貢献とともに、従業員とその家族に対する福利厚生にも繋がっています。



5 緑化活動

従業員参加型での植樹活動を実施しています。植物(緑)を増やすことの大切さを従業員各自に感じてもらっています。この活動によって植物によるCO₂吸収量を増やし、地球温暖化の抑制に貢献しています。



6 環境社会貢献活動



2007年度からの取り組みで、地元の小学校にネムの木やマテバシイなどの苗木を寄贈し、小学生の皆さんと一緒に植樹を行いました。併せて、地球温暖化と樹木との関わりの勉強会も開催しました。また、川の生物観察と題して、地域住民の方にも参加頂き、地元の川の生き物調査や生き物の勉強会など、埼玉県および地元団体の協力のもと、自然と触れ合う体験型イベントを実施しています。

地域社会に根ざした 企業活動

「良き企業市民」として
地域のみなさんとのふれあいを大切に
地域社会に根ざした
社会貢献活動に取り組んでいます。

会社周辺の
クリーン作戦



アルミ缶収集を行い
施設に車椅子を寄付



小学生の
社会科見学受入れ



小学生を対象とした
ケータイなぜなぜ教室開催



高校生の就業体験、
大学生のインターンシップ受入れ

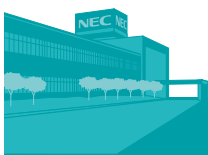


従業員と家族、NPO、子供会、
大学院生が参加した農業体験開催



Community

■
企業活動



受賞

環境コミュニケーション大賞奨励賞



平成22年3月1日、環境省と(財)地球・人間環境フォーラムが主催する「第13回 環境コミュニケーション大賞」の環境報告書部門において、奨励賞を初受賞しました。

これは、当社の環境アニュアルレポート2009の内容が分かりやすい点に加え、当社の環境活動(特にJAとの循環型環境活動や社内エコアップ表彰制度)が評価されたものです。

さいたま環境賞



平成21年3月25日、埼玉県が主催する「第10回 さいたま環境賞」において、環境保全に関する優れた取り組みをしている企業を対象とする「事業者部門」にて受賞しました。

過去、第1回、第2回、第9回と3度の受賞があり、今回の受賞は4度目となりました。(過去4回の受賞は、当社のみです。)

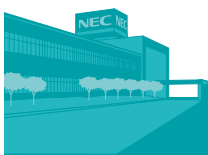
Certification

受賞

埼玉労働局長 優良賞



平成21年7月6日、埼玉労働局長賞 優良賞を受賞しました。これは、安全衛生管理水準等が優秀な事業場に対して贈られるもので、当社の安全衛生に対する全社的な取り組みが評価されたものです。



福利厚生

社員一人ひとりの輝きこそ、
活力ある会社の源泉です。
私たちは福利厚生に力を入れ、
スポーツ施設の設置管理や
サークル活動支援、各種イベント
を実施しています。

厚生施設として、社員食堂、売店、リフレッシュルーム、健康管理室、銀行キャッシュディスプレイなどが設置され、また社外の提携厚生施設もあり、居心地よく働きやすい職場づくりを心がけています。



メールバス



駐車場



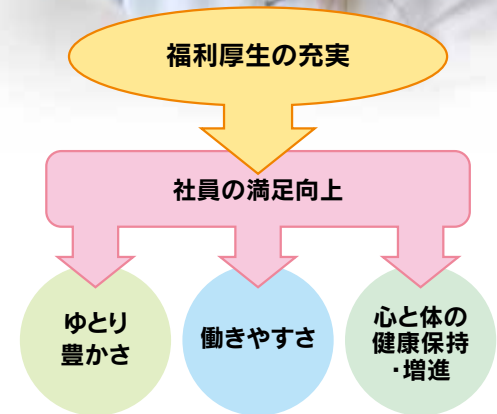
売店



シャワールーム



社員食堂



憩いの広場



中庭



テニスコート

Welfare

- 福利厚生
- サークル活動
- イベント

サークル活動

- ・アスレチッククラブ
- ・サッカー部
- ・野球部
- ・テニス部
- ・バスケットボール部

イベント

サマーナイト
フェスタ



教育

当社は、社長教育方針のもと社員一人ひとりに
仕事を通じた成長を期待し、仕事に必要な能力を向上するための
教育活動に取り組んでいます。

全社員共通の教育としては、ビジネスマナー・会社ルール・O A・基礎技術などを実施する新入社員研修をはじめとした階層別教育、技術動向セミナー、CSR*に関する教育など様々なカリキュラムを実施しています。

技術・技能・事務の職種別には、それぞれの業務に特化した各種専門教育も準備しキャリアアップをサポートしています。

さらに、社員の自己啓発教育としては、英語・中国語の語学スクールやビジネススキル・資格取得等の通信教育を用意しており受講料は会社が一部補助する制度があります。

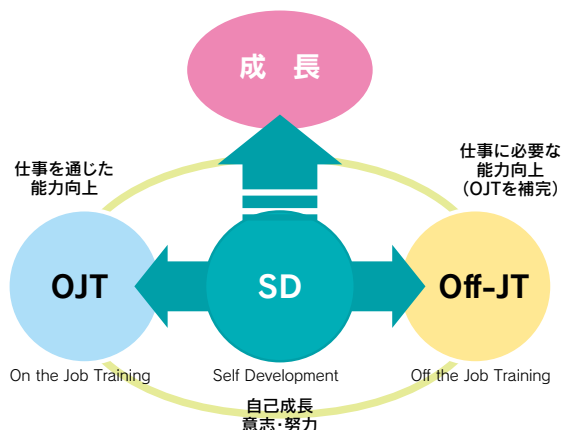
なお、社内研修施設としては、図書室を設け業界誌や専門書籍を整備させるとともに、語学などの個人学習が可能なブースも設置しています。

* C S R (corporate social responsibility)
…企業の社会的責任

●社長教育方針

- 魅力ある商品づくりに結びつく市場動向に敏感な人材育成
- 自律的な個の育成と活気ある職場づくりを行える管理者の育成
- グローバルな視点をもつ人材育成

【人材育成の基本的な考え方】



新入社員研修



製造実習



語学スクール



図書室

Education

■
教育

